

いなさの風

平成30年11月発行
発行者 山田 隆敏
編集 伊那佐まち協
事務局 広報

ご挨拶

会長 山田 隆敏

初冬の候、いなさの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素は伊那佐地区まちづくり協議会の取り組みに対して格段のご理解とご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、この地区をこよなく愛する協議会会員53名(現時点での会員数)の伊那佐地区まちづくり協議会は、通常総会の決議を経て、9月1日に新しく発足しました。発足間もない9月23日には昨年からの継続・発展事業として始めました『過去から未来への灯送り』(伊那佐「灯」Mate2018)という灯籠流しを、伊那佐地区の皆様、榛原西幼稚園と榛原西小学校の園児と児童の皆様、そして宇陀市内外から参加いただいた皆様のご協力を得て、仲秋の名

月も顔を出し、最後にはサプライズの打ち上げ花火を用意しました。喜んでいただけたでしょうか？

このように、より良い地域社会の実現を目指し、誰もが住み続けたいと心から思える、健康で安心して生活できる、そして住民が主役のまちづくりを推進可能にするために、ぜひとも皆様のお力を伊那佐地区まちづくり協議会にお貸しください。

今よりも楽しい伊那佐の故郷づくりに向けて、ともに協働していただけませんか？

協働していただける会員募集は常時行っています。宜しく願っています。

旧伊那佐幼稚園の一階が伊那佐まちづくり協議会の事務所で、皆様の拠点としての賑わいの集いの場所は二階になります。

『協働』の漢字には、『協』三つの力と十、『働』人々と動く、で出来上がっています。

『協』の三つの力とは、伊那佐の皆様+伊那佐まちづくり協議会の会員+宇陀市の意味なのです。新しい協議会は、この「三位一体」の理念を尊重して、地域力を高める活動を行って参ります。さらに、『働』とは、三つの力

に携わる人は、前に動く活動することから、楽しい伊那佐の地域づくりが生まれるという意味なのです。

声を掛け合って、アイデアを出し合って、そして、助け合いから事業とか活動の効果が生まれます。

来年度に向け、皆様のお力とお知恵をいただきながら『いきいき地域づくり活動』を推進したいと考えています。

どうかご協力をよろしく願っています。



◎まち協広報誌名の変更のお知らせ
『いなさびと』から『いなさの風』へ。
「いなさ」とは「東南の風」の意味です。
伊那佐の人が皆で活動すれば風が起きます。
大きな風を願って変更しました。
皆様の熱いご意見と活動で紡ぐ広報誌です。

通常総会開催



9月1日、伊那佐地区連合自治会館（旧伊那佐幼稚園二階リズム室）において、ご来賓も多数ご臨席のもと伊那佐地区まちづくり協議会平成29年度通常総会が開催されました。

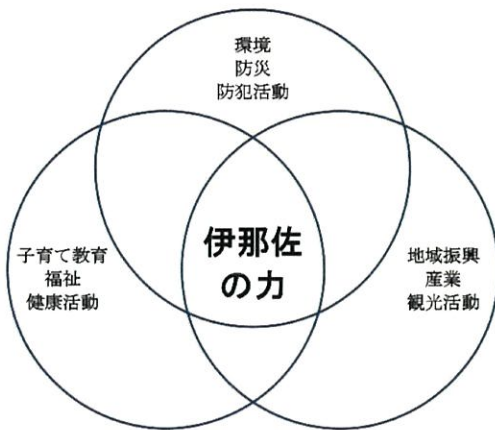
本年度は5月20日の臨時総会において事業報告と決算報告が成されましたが、その場において執行役員及び各委員会の解散があったため、改めて臨時総会等の会議が営まれ、例年より遅れての開催となりました。

冒頭に山田隆敏新会長より、これまでの経緯と抱負などについてご挨拶いただき、続いて、高見省次市長を始め奥隆市議会議員、栗谷宗久伊那佐地区連合自治会長よりご祝辞をいただきました。

議事は平成30年度の役員改選と事業計画・収支予算等について意見交換がされました。これに加え、伊那佐地区の自治会活動に長年尽力されてきた森田伊佐男氏を相談役に就任いただくことが発議され、これが議決されました。

また、7月21日に行われた臨時総会の決議事項に関する説明があり、新体制のスローガンともいえるべき「三位一体」の理

念に基づき執り行われていくこと等を確認しました。
総会終了後には3つの部会に分かれ、部会委員同士の紹介と今後の打ち合わせについて各自で確認しました。
当協議会では、安らかな暮らしと魅力ある地域づくりをさらに推進できるよう新規会員を随時募集しています。皆様のご参加をお待ちしています。



伊那佐地区まちづくり協議会 新役員	
会長	山田 隆敏
副会長 (環境・防災・防犯部会長)	和田 栄
副会長 (子育て教育・福祉・健康部会長)	松岡 公輝
副会長 (地域振興・産業・観光部会長)	奥田 博
理事 (環境・防災・防犯部副会長)	大森 邦夫
理事 (子育て教育・福祉・健康部副会長)	銭塚 政男
理事 (環境・防災・防犯部副会長)	生駒 秀樹
理事 (地域振興・産業・観光部副会長)	横山 三一
理事 (地域振興・産業・観光部副会長)	田中 照己
事務局長	久我 文昭
事務局次長	柳澤 一宏
会計	来 洋一
広報	栗野 義典
会計監事	森田 武男
会計監事	山田 博明
顧問	奥 隆
相談役	森田伊佐男

伊那佐「灯」Mate 2018 を終えて

地域振興・産業・観光部会

奥田 博

伊那佐地区まちづくり協議会が設立されて四日目、9月1日より新しい体制で第一歩を踏み出しました。昨年度初めて実施した伊那佐「灯」Mateは、多くの方々に支えられて、心に残るイベントとなりました。

今年度は、「精霊流し」「灯籠流し」の名称を、「灯送り」とし、継続した事業にしようということ、準備期間も僅かではありましたが、熱い思いを持った新メンバーで実施しました。

台風等の影響もあり、会場の体積土砂の除去、水量による安全対策等、解決しなければならぬことも多々ありましたが、市のまちづくり支援課を中心に、行政の助けをお借りして、開催にこぎつけました。

参加者約300人、流した灯籠450個。今年度は榛原西小学校に加え、西幼稚園の園児の皆さんの作品も加わりました。

芳野川に、個々の願いや夢を乗

せた小さな「灯」が放たれ、水面に映える淡い光の列が、やがて群れを成す光りの束となり、幻想的な光景を醸し出しました。
こうして終わった伊那佐「灯」Mate2018。皆様の声を反映しながら、今後も継続した伊那佐の「光」になることを望みます。

直前まで打ち合わせする伊那佐まち協のメンバーの皆さん。部会の垣根を越え、フルメンバーで力を合わせました。



台風がたくさん去来して天候にヤキモキしましたが、当日はいい天気。皆の祈りが通じました。



今年度は榛原西小学校の児童たちと西幼稚園の園児たちの灯籠もイベントに華を添えました



ゆったりと静かなイベントの最後にサプライズ！数十発の花火がさく裂しました。限られた時間の中でいろいろと試みた今回のイベント。来年もチャレンジは続きます…。



子育て教育・福祉・健康部会主催
世代間交流会
 (地域の高齢者と子供達との交流会)
開催のお知らせ

《日時》

12月23日(日・天皇誕生日)
 午後1時～午後4時ごろ

《場所》

旧伊那佐幼稚園

お餅つき!

石臼と杵を使って昔ながらのお餅つきを一緒に体験しましょう。
 あんこのお餅やきなこのお餅もおいしいよ。

焼きいも!

もみ殻を焼いている中にさつまいもがかくれているよ。黄金色のさつまいもを食べてみましょう。



レクリエーション!
 高齢者のみなさんと子供達と一緒に楽しい遊びも準備しています。



※高齢者のみなさん、小学校、幼稚園、保育園にかよっている子供達はもとより、地域の皆さまもぜひぜひご参加くださいませ!

環境・防災・防犯部会主催
火災被害をなくそう!

1人住まい・高齢者のみの住まいが多く、火災被害をなくすには、早期の対応が大切です。消火器の設置は義務付けられていなくても、できるだけ設置をお勧めいたします。

《消火器の点検》

- ◇ 各家、各建物に消火器を設置していますか?
- ◇ 消火器の使用期限は大丈夫ですか?
- ◇ 消火器の使用方法を知っていますか?



消火器の設置を義務付けられている建物については、消防関係法令で細かく定められています。

12月と1月、消火器の点検運動を実施します

◆お◆し◆ら◆せ◆掲◆示◆板◆

<宇陀市体協榛原支部より>

12/2 (日)

『ウインターウォーク in はいばら』

今年はいばら地区がウォーキングエリアです!

…詳しくは

宇陀市の広報誌に折込まれたチラシをご参照ください。

